

公益財団法人 三菱UFJ信託奨学財団
平成30年度事業報告書
(平成30年4月1日～31年3月31日)

法人の概況

1. 当財団は、昭和28年11月9日に三菱信託銀行（現 三菱UFJ信託銀行）の寄付金をもって設立された。
2. 定款に定める目的
わが国における銀行、信託、証券等の金融部門その他一般産業の進展による社会文化の向上発展に寄与するため、人材の養成及び学術研究の発達を図ることを目的とする。
3. 定款に定める事業内容
 - (1) 将来実業に従事し、または学術の研究に当たろうとする学生及び留学生に対する学資の給与ならびに奨学生に対する指導・助言
 - (2) 学術の研究及び普及の助成
 - (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

事業の状況

平成30年度における事業の概要は次のとおりである。

1. 学資給与事業

(1) 一般奨学生

①事業内容

奨学生(支給休止中の学生を含む)の数は357名。平成30年4月～31年3月の奨学金支給額は次のとおりである。

		月額(円)	人数(名)	年度支給額(円)
日本人	大学生	35,000	262	107,940,000
	大学院生	55,000	49	30,360,000
留学生	大学生	70,000	18	14,630,000
	大学院生	100,000	28	29,000,000
合計			357	181,930,000

奨学生の所属大学は次の通りである。

大学別奨学生数
(平成30年度)

	日 本 人		留 学 生		合 計
	大 学	大 学 院	大 学	大 学 院	
青 山 学 院 大 学	8	0	0	0	8
岩 手 大 学	2	0	0	0	2
大 阪 大 学	8	4	1	1	14
岡 山 大 学	2	0	0	0	2
小 樽 商 科 大 学	3	0	0	0	3
香 川 大 学	3	0	0	0	3
学 習 院 大 学	4	0	0	0	4
鹿 児 島 大 学	3	0	0	0	3
金 沢 大 学	4	0	0	0	4
関 西 大 学	8	0	0	0	8
関 西 学 院 大 学	7	0	0	0	7
九 州 大 学	5	2	1	2	10
京 都 大 学	8	6	3	3	20
慶 應 義 塾 大 学	14	4	2	2	22
工 学 院 大 学	3	0	0	0	3
神 戸 大 学	5	1	0	2	8
国 際 大 学	0	0	0	5	5
国 際 基 督 教 大 学	4	0	0	0	4
静 岡 大 学	3	0	0	0	3
上 智 大 学	7	1	2	1	11
信 州 大 学	4	0	0	0	4
成 蹊 大 学	5	0	0	0	5
西 南 学 院 大 学	5	0	0	0	5
創 価 大 学	6	1	0	0	7
千 葉 大 学	3	0	0	0	3
中 央 大 学	8	3	0	0	11
筑 波 大 学	4	2	0	1	7
東 京 大 学	12	3	2	3	20
東 京 外 国 語 大 学	3	0	1	1	5
東 京 工 業 大 学	4	3	0	2	9
東 京 理 科 大 学	4	2	0	0	6
同 志 社 大 学	7	0	1	0	8
東 北 大 学	8	3	0	1	12
獨 協 大 学	4	0	0	0	4
長 崎 大 学	3	0	0	0	3
名 古 屋 大 学	7	2	0	1	10
南 山 大 学	3	0	0	0	3
一 橋 大 学	5	2	0	0	7
広 島 大 学	6	0	0	0	6
福 島 大 学	3	0	0	0	3
法 政 大 学	6	0	1	0	7
北 海 道 大 学	5	3	0	1	9
明 治 大 学	10	0	0	0	10
山 梨 大 学	4	0	0	0	4
横 浜 国 立 大 学	6	0	0	0	6
立 教 大 学	9	0	0	0	9
立 命 館 大 学	5	0	1	0	6
早 稲 田 大 学	12	7	3	2	24
合 計	262	49	18	28	357

②採用、面談、交流会等活動状況

イ. 採用

平成30年6月22日に開催された選考委員会において一般奨学生136名及び特別留学生5名の新規採用が決定された。

選考委員会の出席者は次の通りである。(五十音順)

委員	大庭照雄
委員	掛川洋
委員(当財団事業部長)	國房もゆる
委員	小林順治
委員	詹 萍
委員(当財団常務理事兼事務局長)	富永保人
委員	三好元介

ロ. 面談

平成30年5～7月、9～11月にかけて48大学を訪問し、海外留学中等の学生を除く一般奨学生約340名と個別面談を実施するとともに、大学の奨学金担当部署とも意見交換を行った。特別留学生については、財団事務局等で8名と個別面談を行った。

ハ. 交流会

<北海道>

平成30年9月28日に北海道地区の奨学生を対象に札幌市内にて実施し、奨学生11名、OB・OG3名、大学関係者3名が参加した。

<東北>

平成30年10月5日に東北地区の奨学生を対象に仙台市内にて実施し、奨学生17名、OB・OG1名、大学関係者3名が参加した。

<九州>

平成30年10月19日に九州地区の奨学生を対象に西南学院大学にて実施し、奨学生17名、OB・OG4名、大学関係者6名が参加した。

<中四国>

平成30年10月26日に中四国地区の奨学生を対象に岡山市内にて実施し、奨学生11名、大学関係者3名が参加した。

<関西>

平成30年11月9日に関西地区の奨学生を対象に大阪市内にて実施し、奨学生64名、OB・OG11名、大学関係者17名が参加した。

<東海>

平成30年11月16日に東海地区の奨学生を対象に名古屋市内にて実施し、奨学生17名、OB・OG7名、大学関係者4名が参加した。

<関東>

平成30年11月30日に関東甲信越地区の奨学生を対象に上智大学にて実施し、奨学生183名、大学関係者37名が参加した。

ニ. 三菱信託山室奨学OB・OG会の活動

平成30年12月8日に都内にて例年どおりOB・OG会を開催し、OB・OG55名のほか、現役奨学生12名が参加した。本会に先立ち、現役奨学生向けの進路相談会を開催し、OB・OG9名、現役奨学生16名が参加した。

(2) 特別留学生

新規採用4名(コロンビア大学、シンガポール国立大学、ステレンボッシュ大学、ハーバード大学から各1名)および継続者3名(シンガポール国立大学、チュラロンコン大学、ハーバード大学)に対し、次の通り奨学金を支給した。

入学金, 授業料	1,547,450 円
生活費	4,300,000 円
計	<hr/> 5,847,450 円

なお、特別留学生7名の所属大学は次の通りである。

岡山大学、慶應義塾大学(2)、上智大学、東京大学、北海道大学、立教大学

2. 研究助成事業

(1) 平成30年度の助成対象研究および年度支給額は、次のとおりである。

① 高齢社会信託研究会 「高齢社会における信託の理論と実務の国際的研究」 (代表者 中央大学法学部教授 新井誠)	2,500,000円 …… 継続
② フィンテックと金融法研究会 「フィンテック時代における金融法」 (代表者 上智大学法科大学院教授 森下哲朗)	1,500,000円 …… 継続
計	4,000,000円

- (2) 平成31年度の助成案件については、平成30年9月3日から11月30日まで公募を行った結果、2件の応募があった。平成31年3月27日に開催された選考委員会において審議の結果、2件とも採用された。助成総額は338万円。

【採用案件】

- | | |
|--|------------|
| ① 国債管理政策研究会 | 1,500,000円 |
| 「日米国債管理政策の比較研究」
(代表者 東京大学大学院工学系研究科准教授 武田史子) | |
| ② 少子高齢化社会の資産形成に関する研究会 | 1,880,000円 |
| 「『人生100年時代』の少子高齢化社会における資産形成」
(代表者 東京大学大学院経済学研究科教授 福田慎一) | |
| 計 | 3,380,000円 |